

北浦架橋 橋ゲタ工事始まる

6月いつばいに完成

北浦架橋の建設が進む様子。橋の基礎部分と、そこに立つ大型の建設機械が見える。

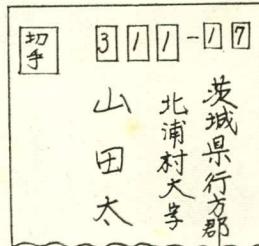
北浦架橋 橋ゲタ工事始まる
6月いつばいに完成
北浦架橋は、延長四〇メートル。中で幅員は四メートル。省では、人手不足を解消し、多量の郵便物の配達局までの流れをスピードアップし、郵便物を早く皆さんの家庭に配達するため、西欧諸国の例にならって、7月1日から郵便番号制度を取り入れることになりました。これによって郵便業務は近代化、機械化され電話と同じように郵便にも番号がつくわけです。

郵便番号制度とは、全国約六千の集配局のうち、配達郵便局の受持区域ごとにつけられた三ヶたの数字を親番号とし、郵便物の取扱量が比較的少ない郵便局の受持地域にはこれに二ヶたの数字を子番号としてつける。これを自動読取区分機(電子計算機)にかかる自動的に区分します。この

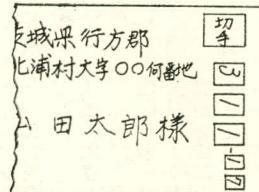
社会経済の発展に伴って、郵便物も年々増加し、今後もこの傾向は続くものと予想されます。一方、将来若い労働者が不足し、当然郵便事業にも重大な支障を招くことが考えられています。そこで郵政省では、人手不足を解消し、多量の郵便物の配達局までの流れをスピードアップし、郵便物を早く皆さんの家庭に配達するため、西欧諸国の例にならって、7月1日から郵便番号制度を取り入れることになりました。これによって郵便業務は近代化、機械化され電話と同じように郵便にも番

北浦局は二一一一七番 郵便番号制7月1日から

タテ書きの場合



横書きの場合



☆時のことば☆

IMF特別引き出し権

国際通貨基金(IMF)が、ドル危機の解決策として考へているもので、金・ドルにつぐ、第三の通貨と注目され、SDRという略称で呼ばれています。

アメリカの国際取引悪化に伴うドル不安により、各国がいっせいにドルを金に換えはじめ、世界に出回る金の量が不足し、これがさらにドル不安に拍車をかける。しかも、金は、生産の頭打ちや民間の退藏などもあり、もはや貿易決済手段としてその拡大をまかないきれない。そこで、ドルや金に代る新しい貿易決済手段をつくる、というのがその考え方です。

IMFに一定わくのSDR勘定を設け、加盟各国は出資比率に応じたSDRの配分を受け、国際取引の赤字穴うめにあり向ける。黒字国は、自国の配分額の2倍までSDRを受け取る義務を持つ。そこには、貴金属や紙幣のような実体は何もなく、各國の帳じりが対外決済に応じて動くだけで、金やドルと同じはたらきをさせよう、といふものです。

IMFでは、この最終案をさせる4月23日各国に示しましたが、各国の賛成を得て実際にこの制度が動き出るのは、来春になるものとみられています。

近年、急増する交通違反のうち、比較的軽い違反に対し、現行の罰金支払い制度の合理化をかるため、きたる7月1日から「交通反則通告制度」が実施されます。

交通反則通告制度というの

止違反、信号無視、二四キロ以下のスピード違反など、比較的軽い六十四種類のものを

二五キロ以上のスピード違反

交通違反の常習者、または実

際の交通事故などの悪質なもの

のを除いて、たとえば一時停

止違反、信号無視、二四キロ以下のスピード違反など、比較的軽い六十四種類のものを